

環境学委員会・地球惑星科学委員会
FE・WCRP 合同分科会 CliC 小委員会
(第 25 期・第 2 回)

議事要旨

日時：2022 年 12 月 19 日（月）15:00～17:00

場所：Zoom によるオンラインミーティング

参加委員（五十音順・敬称略）：東久美子、阿部彩子、浮田甚郎、榎本浩之、斉藤和之、杉浦幸之助、竹内望、庭野匡思、檜山哲哉、深町康、杉山慎

欠席：青木輝夫、飯島慈裕、坂井亜規子、羽角博康、伊勢武史、西村浩一

●定足数確認

委員 17 名のうち、11 名の出席で定足数が満たされていることが報告された。

議題：

1. CliC の動向

CliC の最近の動向（SSG の活動、新規事務局および事務局長の紹介、CliC Strategic Plan、若手研究者サポート、IASC 等の他組織との共同活動など）について、杉山委員長から資料を基に説明があった。（資料 1 参照）

2. 関係学術組織の動向

海外および国内の関連学術組織の動向として、各委員から資料を基に情報提供があった。

(1) 斉藤委員から、永久凍土関連の国際的な研究動向として、Permafrost Carbon Network（事務局交代、活動内容）、International Permafrost Association（体制の交代、国際大会、Action group）に関する情報について資料を基に報告があった。（資料 2 参照）

(2) 庭野委員から、グリーンランド氷床表面質量収支のモデル比較実験(GrSMB-MIP2) に関する情報について資料を基に報告があった。（資料 3 参照）

(3) 竹内委員から、IASC CWG の活動について（Strategic Plan、ICARP-IV に向けての準備、5th International Polar Year 2032-33 の準備）資料を基に報告があった。（資料 4 参照）

(4) 榎本委員から、IPCC AR6、AC（出版物、ロシアの状況）の動向について、報告があった。

(5) 東委員から、日本学術会議 IUGG-IACS 小委員会、および日本学術会議 IUGG 分科会、学術会議の動向について、報告があった。（資料 5、 6 参照）

7. 今後の CliC 小委員会の活動

今後の小委員会の活動について確認、検討を行った。

8. その他

特になし

以上